

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	3.93	
	「3歳未満児保育」	26	3.88	
	「3歳以上児保育」	53	3.74	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.13	
	「健康・安全」	29	4.41	
	「子育ての支援」	18	3.50	
	「職員の資質向上」	5	4.00	
計	162	3.92		
総合 評価	<p>様々な活動をする中で保育教諭や子ども同士の対話を大切に活動に取り組んできました。一人ひとりがどんなことに興味を持ち活動する中で探求や問いを立てることが難しく、なかなかうまく活動できない場面もあり、その都度職員間で話し合いました。活動を通して主体的、対話的、また探求することから生まれる経験を大切にしていって行く中で、子どもに寄り添い保育していきながら保護者との信頼関係をしっかりと築いていけるようにしていきたいと思っています。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	<p>〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進</p> <p>職員とこまめにコミュニケーションを図りながら、個別面談を年2回実施する</p>
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	<p>〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的にチェックリストの活用等、職員が自己の支援について振り返る機会の提供</p> <p>子どもの人権擁護のセルフチェックリストを活用し、職員間で振り返りをする（年3回）</p>
地域の学校との「信頼」の構築	<p>〔学校との相互理解〕 学校行事への参加や、園（施設）行事・自己評価事業への招待等、“顔と顔の見える関係（世間話ができる関係）づくり”に努め、相互理解を図る</p> <p>松帆小学校と幼小接続取り組みシートを活用し交流を深めていく（年3回）</p>